

- 語り合う
- 生命誌の広場
- 中村桂子の「ちょっと一言」
- ラボ日記
- 表現スタッフ日記
- さまざまな交流
- 生命誌のこれからを考える

生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」
- 研究について
- 季刊「生命誌」
- 展示・映像
- その他

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日 [この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日 [この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月 GO

みなさんからのご意見



中村桂子の「ちょっと一言」

わらじむし

投稿日：2019.05.30 ニックネーム：みかづきも

ふと「ダンゴムシの偽物」がいたことを思い出しました。偽物とは「まるくならないダンゴムシ」のことで、小さい頃、そんな風に言っていました。検索すると、それはワラジムシという名前でした。つまり「まがる構造」を持たないということなんですね。そういえばアルマジロもまるまるので同じ構造なんですか。とにかく、ハリネズミとかも丸くなると突然可愛くなってしまいます。

お返事

投稿日：2019.05.31 名前：中村桂子館長

”丸いものを可愛く感じる”のは確かですね。動物の赤ちゃんたちもなんとなく丸い感じでポツンと丸い眼をしていて・・・可愛がられるようにできているのだと書いていらしたのは手塚治虫さんだったと思います。絵を描く時にそれを意識すると人気が出るとか。ドラえもんもあの形でだいぶ得をしているのかもしれない。話はどんどん脇道へそれていきます。アルマジロの丸くなるしくみ・・・調べてみないとわかりません。教えて下さい。

その他

生命を知ること

投稿日：2019.05.30 ニックネーム：トリプトファン

生物を勉強していると、時々不思議な気分になります。今"自分"と認識しているものが一体何なのか、この意識がどこから来てどこへ消えていくのか、いくら考えても分からないのです。大学では生物の研究をしようと思っています。動植物を改良し、進化させたいわけではありません。環境を変えるつもりもありません。でも80年の人生の中で、少しでも生体の仕組みを解明し、生命という存在に対する考えを深めていきたいです。

お返事

投稿日：2019.05.31 名前：中村桂子館長

いくら考えても分からないことだらけですね。とくに生きもの、その中でも人間について、”私”について考えたら分かっていることより分からないことの方が多いいのではないのでしょうか。私は難しいことを考えるのが苦手なので、小さな生きものたちを見ることを通して生きていることの面白さを知るという方法で少しずつ考えています。もし、みんな分かってしまったらつまらないだろうなと思いつつ、「大学で生物の研究をしよう」と思いつつしゃるとのこと、是非生きものを見て考え続けてください。また書きこんで下さること楽しみにしています。

その他



新着情報



[10月19日生命誌オープンラボ \(19.10.01\)](#)

[10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会\(19.10.01\)](#)

[昆虫脳の標本展示が登場！\(19.10.01\)](#)

[パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始\(19.10.01\)](#)

[あくあびあ芥川とスタンプラリー開催\(19.10.01\)](#)

研究館に行ってみよう

投稿日：2019.05.29 ニックネーム：山形ママ

理学部生物学科卒の者です。今は子育て中の主婦をしています。大学生の頃、生命を愛おしいと感じることのできる毎日は、とても私を幸せにしてくれたと感じています。命をいとおしく感じられれば、昨日のような、子供を切りつけるような事件は起きないのと思い、とても胸が痛みます。5歳の末っ子の娘が、どうやって生き物は生まれてきたのかに興味があり、いつかこの研究館を訪れてみたいです。

お返事

投稿日：2019.05.29 名前：中村桂子館長

是非いらして下さい。私は東京で生れ、育ったのですが、子どもの頃は原っぱで遊びました。私の子どもたちの頃と同じです。今、孫の世代になって……。たまたま我が家は地面に足をつけて暮らしていますので、庭の小さな池でオタマジャクシをつかまえたり、カマキリのタマゴを見つけたりして育てています。でも、東京では高層マンションが次々と建ち、その中でコンピュータゲームで遊ぶ子どもたちがふえています。都会はどこもその方向にあるのではないのでしょうか。この大きな変化が私たちにどのような影響を与えるのか。よく考えなければならないことですが、新しい技術開発こそ大事という流れに消されています。最近の事件と直接結びつけることはしませんが、おっしゃるような「命への愛おしさ」という気持は、やはり実際にいのちあるものと接しなければ生れないでしょう。とても気になっています。お嬢様、すばらしい問いを見つけられたので是非いらして下さい。



中村桂子の「ちょっと一言」

高野山と東寺

投稿日：2019.05.19 ニックネーム：ミッキー

若い頃、司馬遼太郎の「空海の風景」を読んで空海のファンになりました。夏涼しい高野山には、一人で、家族と、何度か宿坊を訪れました。高野豆腐や胡麻豆腐の精進料理は美味しかったですよ。ある奥まった部屋に泊まった時、その部屋では冬には雪のふる音が聞こえるとのことでした。それほど静かな所なのですね。千二百年前に空海たちが厳しい修行をしていた光景が思い浮かびます。

両界曼荼羅図を見たとき、その大きさに驚きました。意味は全く解りませんでしたけど・・・ネットで東寺の立体曼陀羅を見ましたが、荘厳な雰囲気の中、台座に象や鳥があしらってあったのが印象的でした。

中村館長のお話で、大日如来が「受精卵」に見えたとの独創的なくだりに思わずエッ！と声を上げてしまいました。が、次第に、なるほどそう言うことかと感じるようになりました。空海が創った仏様たちは、生きものの世界を表現しているのかな。生きものと自然界の理り、ホメオスタシスを表象しているのかな・・・

PS.空海のお話、楽しみにしています。

お返事

投稿日：2019.05.29 名前：中村桂子館長

緑豊かな森のある山は日本人の心のふるさとですね。そこには神様もいらして。マンダラの大日如来様を受精卵にしたのは個人的思いですが、マンダラの専門家がよくわかりますとおっしゃって下さったのでホッとしています。なんでも自分に引きつけて考える癖があるので



中村桂子の「ちょっと一言」

空海

投稿日：2019.05.11 ニックネーム：みかづきも

中村先生が立体曼荼羅を見ると幅広い知識をお持ちのため何かとても感じる事があるのだと想像します。私は空海に対して歴史の教科書くらいの知識しかなく、番組を見てどんな人物だったか知りました。あとで番組をちゃんと見ていれば良かったと思いました。ダンゴムシの話もとても面白いのですが（街中にガチャポンがあると思わず探してしまう日々です。）もう一度、立体曼荼羅のお

話聞きたいです。

お返事

投稿日：2019.05.14 名前：中村桂子館長

空海とマンダラはたくさん教えられるところがありますので少しずつ書いていきますね。まず私が好きなのは四国の森の中で駆けまわっていた佐伯真魚少年なのです。もちろん大人になってたくさん勉強をし、考えたところがすごいのですが、立体マンダラのような独創性の高いものをつくれたのは森の中で過しているうちに体に浸みこんだものがあつたからだと思います。



中村桂子の「ちょっと一言」

せいめいのえほん

投稿日：2019.05.08 ニックネーム：みかづきも

コメントいただけてとても嬉しいです！

空海の曼荼羅の前の中村先生のお話、仏像がさまざまな形を取り入れたこと、また整列し、広がっていることは、ミクロ（形態）にもマクロ（生態系）にも生命であることと、見事にシンクロしました。先日、「動植物100万種が絶滅危機」というニュースを聞きましたが、「曼荼羅が！仏像が！」と思い巡らしました。

また、真鍋先生と科博で企画があるとのこと、楽しみです！「せいめいのれきし」は改訂前からのお気に入りの本です。今更ながらですみませんが、中村先生の絵本「いのちのひろがり」を拝読しました。私はときどき童話などを書いて投稿していて（入選した事もなく趣味です）、昔、アリの物語を書いたことがあります。「いのちのひろがり」のはじめのアリのエピソードと同じような事、書いた事があります！間違っていなかったのだと思いました。小さい頃、アリを見ていて、いえ、今も見てしまいます。そして、「生命」と「歴史」について分かりやすく描かれていて、とても素敵な絵本でした。ありがとうございます。

お返事

投稿日：2019.05.09 名前：中村桂子館長

今ちょっと空海に入り込んでいます。日本人の先輩には素晴らしい人がたくさんいて学ぶこと大ですが、空海もその一人。図抜けて素晴らしいと言える人だと思います。生命誌まで見抜いていたかも・・・勝手に思っています。「いのちのひろがり」。楽しんでいただけたこと、こちらこそありがとうございます。



中村桂子の「ちょっと一言」

だんごむし

投稿日：2019.05.07 ニックネーム：ミッキー

庭でタネを蒔いたあと乾燥防止のために新聞紙をかけておくと、次の日には何十匹ものだんごむしが紙の下に集まっています。紙をパッとめくると、全員が一斉に四方八方に逃げ去ります。その逃げ足の早いこと。沢山の繊毛のような足で地面を滑るように移動する光景は見事です。館長のお話、だんごむしは丸くなるために外殻のサイズに秘密を持っていること、驚きました。生きものは素晴らしいなと思います。最近、だんごむしの腹側がどうなっているのか、気になって見たのですが、驚きました。足は繊毛のようだと思い込んでいたのですが、実際には太もものようなしっかりした足が腹側を埋め尽くすように並んでいました。だから、いざという時に速く動けるのだと納得しました。自分が見ている自然の姿は、多くは自分が創り上げたイメージの世界だと思います。だから、生きものの本当の姿が垣間見えた時には驚き、楽しい気分になりますね。

お返事

投稿日：2019.05.08 名前：中村桂子館長

素晴らしい観察ですね。玩具をつくらうとした人はよい観察をなさったわけですが、願わくば、その玩具を手にとった子どもたちが本物のだんごむしを観察して欲しいと思います。そうすると、教えられた外殻について知るだけでなく、ミッキーさんのような発見ができるわけですから。大人になってからもそれを楽しめる人たちの暮らす社会の方がお金に振り回される社会よりよさそうに思えるのですが、偉い人たちには通じないのかもしれないですね。



全体の命

投稿日：2019.05.06 ニックネーム：mokukiti

小さな虫たちもよくよく観察してみれば、素晴らしい構造を持っていますよね。動画サイトでハサミムシの飛翔を見たときは感動しましたねー！！

小さな生きものや植物から学べることはたくさんありますね。ヒトはもっと謙虚になって、「たくさんの命があつての自分の命である」ということに気付き、人間社会の為にだけでなく全体の中での人の在り方を考え、小さな生き物たちから学んだことをも生かしていけるようになるといいですね。

これからは今までのような考え方では通用しないことも起きてくるように感じています。最近新しい価値観で物事を判断できる若い人たちに出会うこともあり、そういった若い人たちが伸び伸びと活躍できる社会になればいいなあと思います。

お返事

投稿日：2019.05.07 名前：中村桂子館長

おっしゃる通りです。お書き下さったことをささやかにやり続けてきたのがBRHだと思っており、これからも続けていきます。是非御一緒によるしくお願いいたします。また日常出会ったこと書き込んで下さい。



曼荼羅と恐竜と

投稿日：2019.05.03 ニックネーム：みかづきも

日曜美術館「京都の大宇宙 東寺」で中村先生が出て来てびっくりしました。空海の曼荼羅の前で、とても興味深いお話でした。（たんなる「曼荼羅」つながりではない！）私は農学部を卒業し、社会人になって通信で美大を卒業した者です。生命誌館の学問に垣根のない活動に共感していて、季刊「生命誌」を楽しんで読ませていただいています。また、恐竜も好きで、今年は恐竜博があります。99号で小林先生と対談されていますが、私は真鍋先生のファンでもあります。「せいめいのれきし」の改訂版監修をされた真鍋先生ともいつか対談してほしいです。

お返事

投稿日：2019.05.07 名前：中村桂子館長

日曜美術館見て下さってありがとうございます。立体曼荼羅は大好きでたくさん学んできましたので勝手な思いを語ってしまいました。受け止めていただけてとても嬉しいです。NHKのおかげで閉館後にゆっくり見られてありがたいことでした。

真鍋先生にはいろいろお世話になっています。今後科博で絵本での「生命の歴史」を企画していらっしゃるのですが、その中に私の「いのちのひろがり」も入れて下さいました。